



ふれあい

4月号投稿締切
3月15日(土)

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎ 364-8442

起震年月日	前回の経過年数と規模	平均周期37.1年ライン
1793年2月17日	0年 基準点 M8.2	
1855年7月20日	42.7年 M7.3	
1861年10月21日	26.3年 M7.2	
1897年2月20日	35.3年 M7.4	
1936年11月3日	39.7年 M7.4	
1978年6月12日	41.6年 M7.4	
2008年3月1日の進行30年経過		平均周期 37.1年

震災、生命、財産、生活環境を、わずか数分で奪ってしまう災害、昨年十月より緊急地震速報が見聞き出来る様になった。一般向け緊急地震速報を発表する条件、地震波が2点以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱以上と推定された場合に発表する。2点以上の地震観測点で地震波が観測された場合とした理由は、地震計のすぐ近くへの落雷等による誤報を避けるため。最大震度5弱以上が予測された場合とした理由は、震度5弱以上になると顕著な被害が生じ始め、事前に身構える必要があるためとしている。計測機器設置場所から気象庁、伝達機関、速報開始の間、数秒〜数十秒の作業行程が必要で、震源地に近い地域は、地震後に受信する場合がありますと記している(気象庁)時々の事情によって情報を受信出来ない条件も在り得る。予測が困難なのは、平均周期が迫る宮城県沖地震、過去のデータを左表にあてはめると平均周期37.1年が判る。すでに前回の地震から38年が経過、平均周期まで1年となった。設定した年毎の評価と、確立を拾って記したのが左表2007年の項では、10年以内の確立が99%。無視できない数値として記憶したい。

設定年号	10年以内	20年以内	30年以内
2001年	26%	81%	98%
2003年	39%	88%	99%
2005年	50%	90%	99%
2006年	50%	90%	99%
2007年	60%	90%	99%

この間に、家屋の耐震補強、家族が緊急時の避難手順を決めておくことも大切、その次がライフラインの復旧、公的支援を受けられるまでの、地区の組織体勢確立と対応、定期的に行う基本訓練も必須、独立した通信手段と機器の確保、緊急事態に対応出来る消火機器、負傷者の可搬用具、低度の生活資材備蓄、食料供給の出来る機器の常備、地区の負担で充当する過分な経費活用とは思わない、あるべき時期にきているのでは。備えあれば憂いなし。そして、私が区長在任中は、少なくともあってほしくない? 怒る? 訂正、大代には、来無いことを祈りましょう。イイ。

大代北区町内会長 加藤 渉

大代の歩み

大代西 佐藤 甚六

気の遠くなるような過去にこの地で人類が生活の営みを始めて以来、さまざまな人々が去来して、歴史を積み上げ、栄枯盛衰を重ねて現在に至っております。

ここで、先人達の残した史料と地元で語り伝えられた伝承を基に、大代に生を享け育った者の務めと考え筆をとるしだいです。

一 大代及び周辺地域の地勢と沿革
古代の多賀城は、北側に丘陵地、南側は湿地帯を含む平坦地で、毎年の暴風雨等による水害は上流から低地帯を自然環境に任せて紆余曲折し、下流の大代南側低湿地帯を経て現在の七ヶ浜町湊浜から海に注いでいた。

時代は移り変わり、奈良時代前期、大和朝廷は東征の拠点として、多賀城に国府築城の際、築城用資材の搬入を湊浜からの河川を改修して(現在の砂押川)舟便で運んだものと思料されます。

なお、現在の貞山運河が江戸時代になって仙台藩主伊達政宗によって掘削されるまで、湊浜までの舟運は続いた。

大代の北側は丘陵地で、西に来宝壇山、東に石ヶ森山があった。来宝壇山は現在の多賀城自衛隊駐屯地内に所在した山でそこには法印墓と呼ばれた来宝修験者の墓があり、戦前から採石場であったが、昭和十七年海軍工廠の

建設により墓地は現在の大代墓地に移転し、山そのものも工用地の碎石等で消滅した。石ヶ森は中峰にあり、戦前には採石場があったが、仙台新港移転者の代替地及び公営住宅地として宅地造成され様変わりした。

その他大代地内の田畑等は昭和四十四年以降仙台港背後地として、緩衝緑地公園・流域下水道処理場・東北石油(新日本石油仙台製油所)等の敷地に造成され今日に至っております。

なお、次号からは郷土の史実を研鑽されている、南区在住の渡邊巖さんに健筆をお願いいたしますので、ご期待下さい。

残雪の日和

大代中 鈴木 則子

春遠からず。この句を描きながら暮らした厳冬の季節も過ぎ去ろうとしている。二月十一日、久しぶりに朝食のメニューにしたたる美味しさ。春かいな。七十キロの体重を緑側のソファに「ドスン」と腰をおろす。ガラス戸より照りつける陽ざし、適当な温度を浴びながら口ずさむ。春は名のみ風の寒さや谷のうぐいす歌はおもえど時にあらずと声もたてず。懐かしい少女時代、想い起こす数々の唱歌を口ずさむ。老令と答えはであるが、やっぱり「うた」には永遠の若さがある。いつまでも少女であるよう口ずさむことを忘れることなく唱え私の心を癒してくれることでしょう。

ご祝儀 お見舞いは 三千円を限度にし お返し物はしないようにお互い気を配りましょう

一月二十六日(土)午後三時頃、大代郵便局前にて、自転車で転倒したわが子を助けていただきました。大代近隣の方だと思うのですが、『水色の自転車の男性』でした。そばにいただけで本人はとても心強かったと思います。連絡先をお伺いできなかったのですが、この場をお借りして御礼させていただきます。本当にありがとうございます。ございました。

その後、病院で手当してもらい大事にも至らず、無事高校受験して参りました。今回のことで改めて人の温かさを感じさせられました。

我が子にも助けて頂いた感謝の気持ちを忘れずに、人情味ある大人に育ってほしいと願っています。ありがとうございます。七ヶ浜町 伊丹 ございました。

消防団第六分団

からのお知らせ

第六分団長 伊藤 勲

立春も過ぎ日差しも日毎に爽やかに感じる今日この頃、地域の皆様にはお変わりなく暮らしのことと拝察申し上げます。日頃の消防団活動に対し御指導御鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

三月一日より三月七日まで、全国一斉に春の火災予防運動週間が始まります。この時期は、空気が乾燥し、季節風の強い日が多く発生し火災の起きやすい状態となりますので、皆様一人一

人が火の元の点検を行い、火災のない安全な地域である様をお願い致します。なお、ポンプ車での広報は、三月一日、四日、七日の午後七時より実施致しますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

統一防火標語

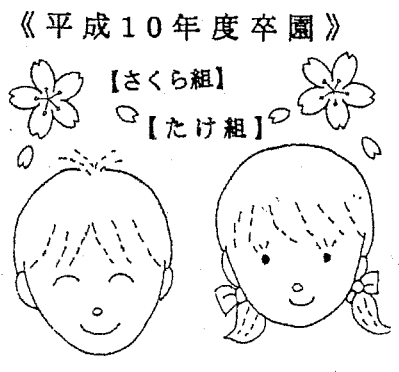
全 国
「火は見てる
あなたが離れる その時を」
塩釜地区
「火あそびは
やっちゃいけない やらせない」

お知らせ

平成十年度柏幼稚園卒園生の皆さんへ(現中学三年生)
卒園式に皆さんで、埋めた「タイムカプセル」を開封いたします。

◇日時/三月二十八日(金)
午前十一時半
◇場所/柏幼稚園

※当日、参加出来ない方は、実行委員長、斎藤までご連絡下さい。
☎三六五―七五〇四



ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子
満開の 花の摩周湖 訪ぬれば
洞庭西湖に 劣らざるなり
古里を 再び訪ふは かなはぬか
車窓に見ゆる 蔵王の桜
咲き誇る 花の吉野に 佇めば
小町の歌ぞ 蘇り来る

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男
深々と雪深ければ雪女
悴け猫炬燵の中の住みごこち
鐘撞くや音凍て返る瑞巖寺
穀付きを焼き修羅となるかき祭り
豆撒きて福は内なり鬼も内
笠神西 本郷 勝子
猫柳生命力の息吹かな
雄姿なる蔵王の峰の冬茜

雪景色五大堂荘厳なりにけり
雪の日や水車の音の響きかな
振り返る夕月一つ二月尽
笠神西 吉野 珠子
白椿ポニーテールの娘ほほえむ
嫁が君空気の読めぬ小正月
鬼やらいおみくじむすび鳥になり
追儺の夜和楽に舞うは福まねき
節分や竿しなるほど絵馬吊し

大代地区公民館まつり

去る二月二十三日(土)・二十四日(日)に大代地区公民館まつりを開催いたしました。

公民館を利用する各教室、サークルの方達の日頃の成果を発表する場として、作品展示の部、舞台発表の部と各団体が中心となつて行われました。

今回の公民館まつりは、例年どおり大代地区子ども会育成連合会の食べ物のお店に加え、山茶花大学生による餅つき販売、大代地区コミュニティ推進協議会によるバザーと、今年度からの試みもあり、地区の方々の協力も得ることができました。

当日は、悪天候の影響もあり、餅を外でつくることができなかったことなど、残念な面もありました。

